

士別市子ども議会 ～チャレンジ応援事業～ 2025

士別市子ども議会つうしん
2025年第2号 令和7年7月22日

発行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館
企画運営：中央公民館・社会教育課
青年ボランティア協力員
士別市東6条4丁目 士別市民文化センター内



令和7年7月8日(火) 第2回学習会/士別市民文化センター会議室1

ワークショップ①

困りごとの解決と夢の実現の話し ～協力員 泉田さん

「みんなにとっての仕事とは？」について、子ども議員にイメージを聞いてみました。

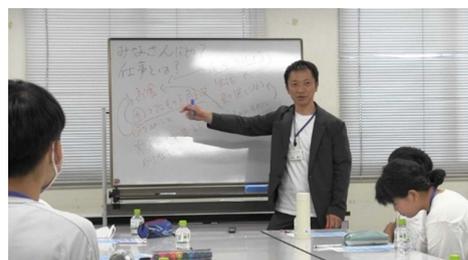
～子ども議員からの発言～

「お金」「困ったものを解決する」「自分の好きなこと」「人の邪魔をしない」
「やりがい」「人を助ける」「生活のため」「勉強になる」「誰かのために」 など

いろいろとイメージが出される中で、「仕事とは？」の問を、大人と子ども一緒に考えてみると、すべてのイメージが「仕事」につながり、全てが正解であると気づきました。

また、お話しの中では、必ずしもお金を稼ぐということだけが仕事ではなく、「人を助けると、助けた人が幸せになり、結果お金につながった」や「好きなことを貫き通したら、結果お金につながった」など、考え方の視点についても語られ、全体のまとめでは、

誰かの困りごとを解決することや、誰かの夢の実現を後押しすることが結果「仕事」になる。と意識の共有を図りました。



ワークショップ ②-1

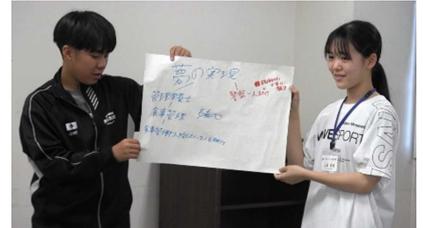
どんな「困りごとの解決」と「夢の実現」があるだろう？

～協力員 石川さん

2人1組のペアワークを実施。世の中にある「困りごとの解決」や「夢の実現」について考えてみました。まずは個人で考え、ペアと共有し、最後には発表を行い以下のような内容が発表されていました。

- ・私が思う困りごとの解決は、警察や消防士などの仕事、家事や給食準備など、日常での手伝い。人の話を聞いたり、自分の話を聞いてもうことで解決ができると思う。
- ・夢を実現するためには「具体的に」「色々な人の話を聞く」「自分の意見を述べる」「勉強して知る」そして「実践する」ということが、大事なんじゃないかと思う。

… など



ワークショップ ②-2

自分たちが経験した困りごとの解決と夢の実現 ～協力員 杉浦さん

つづいて、実際に自分が経験したことのある「困りごとの解決」や「夢の実現・目標の達成」について、小さなことから大きなことまでそれぞれ考えてみました。

<以下、発表内容>

■困りごとの解決

- ・日常での手伝い ・勉強を教えてあげた ・小学校の校則変えた
- ・みんなの前で上手に発表できる方法を教えてあげた
- ・勉強を教えてあげた ・ボランティアに参加した

■夢の実現、目標達成

- ・部活に入った ・海外へ行った ・スポーツの大会で勝った
- ・泳げるようになった ・面白い企画を考えて実現した



ワークショップ ③

子ども議員としてやってみたいこと？ ～協力員 荒又さん

第2回学習会の最後は、「子ども議員としてやってみたいこと？」についてそれぞれ考えてみました。ワークショップでは、昨年実践した「事業の目的」などが紹介される中で、今回の実践は「アイデアを数多く出してもらい、その中から子ども議員による投票で内容を決定していく」として、最終的には「皆で協力し合い一つのものを実践する予定」といたしました。次回の学習会では、子ども議員が考えた実践アイデアの発表と、内容の検討を行う予定です。

